

『第11回西日本両生類爬虫類会議』開催につきまして

岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ（所在地：岐阜県各務原市、館長：堀 由紀子）では、平成19年6月5日（火）、6月6日（水）に、水族館1階多目的ホールにおいて、第11回西日本両生類爬虫類会議を開催いたします。

西日本両生類爬虫類会議は、両生類・爬虫類の飼育展示に携わっている全国各地（主に西日本）の動物園・水族館の職員が集まり、日頃の調査研究成果を発表する会議で、両生類・爬虫類について、来館者の方々により理解していただけるような教育普及活動などについて情報交換する機会にもなっております。

今回は8題の研究発表と、基調講演として、広島市安佐動物公園 桑原一司氏（日本動物園水族館協会 両生類・爬虫類類別調整者）によるカエルツボカビ症についての講演を予定しております。

第11回西日本両生類爬虫類会議

開催日時：平成19年6月5日（火）～6日（水）

開催場所：岐阜県世界淡水魚園水族館“アクア・トトぎふ” 多目的ホール

概要：1997年より年1回開催。両生類・爬虫類の飼育展示に携わる、全国各地の動物園・水族館の職員が集まり、研究発表・情報交換を行う有志の集い。

全国各地の動物園・水族館が持ちまわりで開催している。

2004年 鳥羽水族館

2005年 鳥根県立央道湖自然館

2006年 日本サンショウウオセンター

参加予定者：約50名

<本年度会議内容>

基調講演「両生類の危機とカエルツボカビ症※」

広島市安佐動物公園 桑原 一司

（日本動物園水族館協会 両生類・爬虫類類別調整者）

その他、8題の研究発表を予定

※カエルツボカビ症

両生類の新しい感染症で、感染すると致死率が90%以上と高く、伝播力が強いために世界中で猛威をふるっており、すでにオーストラリアや中米の両生類が壊滅的な打撃を受けている。昨年末に日本でも確認され、2007年1月12日には両生類の保護・研究、および日本の自然保護に関わる研究機関、環境団体などは、国内での発症の確認を受け、緊急事態宣言を発表した。現在のところ、野外での発症は確認されていないが、今後、野生の両生類にこの病気が広がった場合、日本の自然環境や農林業は、深刻な影響を受ける可能性があり、早急な対策が必要である。

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせは>

岐阜県世界淡水魚園水族館(アクア・トトぎふ) 担当/北川・高木・池谷

TEL: 0586-89-8200 FAX: 0586-89-8201

営業時間: 9:30~18:00 (最終入館 17:00)

※6月11日(月)は休館日です。